

# 県教研

長野県教育研究集会

～いっしょに話ませんか子ども、学校、教育を～

どなたでもご参加できます

2026  
11/3  
(火・祝)

## 開催日程

|          |       |   |                         |
|----------|-------|---|-------------------------|
| 全体会・記念講演 | 10：00 | ～ | 11：50                   |
| 分科会責任者会  | 11：55 | ～ | 12：10                   |
| 分科会      | 13：00 | ～ | 17：00（終了時刻は分科会ごとに異なります） |

## 開催会場

|     |                                               |
|-----|-----------------------------------------------|
| 全体会 | 長野県松本美須ヶ丘高校<br>オンライン配信あり                      |
| 分科会 | 長野県松本美須ヶ丘高校・松本市立旭町中学校<br>実参集（一部オンライン併用）・オンライン |

# 2026 年度 長野県教育研究集会

いっしょに話ませんか  
子ども、学校、教育を

## 2026 年度長野県教育研究集会に寄せて

2026 年度長野県教育研究集会が、企画推進委員、会場校職員、後援団体等の皆様のご尽力により開催の運びとなりましたことに心より感謝申し上げます。また、分科会役員やレポーターのみなさん、共同研究者の方々など、本研究集会に向けて積み重ねてきたご努力にあらためて敬意を表します。

今学校現場は、長時間労働の常態化、教職員不足、子どもたちを取り巻く貧困や格差の拡大、不登校や多様な教育的ニーズへの対応など、多くの課題に直面しています。こうした課題に向き合うためにも、現場の実践に学び合い、互いの悩みや工夫を交流しながら教育を創り上げていくことが何より重要です。

しかし、5 月 22 日、文部科学省は研修旅行の内容が教育基本法に違反するとして学校法人に不当な介入といえる指導を行いました。本来教育は、目の前の子どもの実態や地域の状況を踏まえ、教職員の専門性と自主性に基づいて行われるべきものです。行政が一方的な価値観や方向性を現場に押しつけることは、教育の自主性や教育研究活動の自由を損ないかねません。

長野県教育研究集会は、現場の実践を持ち寄り、参加者による研究討議を通して実践を共有し、互いの実践力量を高める機会であり、まさに自主的教育研究活動そのものです。行政による過度な介入が強まる今、自主的教育研究活動の意義はますます重要です。子どもたちのために、そして教職員自身が専門職として成長し続けるために、互いに学び合い、支え合う教研活動をさらに発展させていきましょう。多くの皆さんの参加を心から呼びかけます。

2026 年度長野県教育研究集会 集会委員長 相場瑞樹



### 開催日程・会場

#### 日程

2026 年 11 月 3 日（火）

|          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 全体会・記念講演 | 10：00～11：50                 |
| 分科会責任者会  | 11：55～12：10                 |
| 分科会      | 13：00～17：00（終了は分科会ごとに異なります） |

#### 会場

|     |                                                  |
|-----|--------------------------------------------------|
| 全体会 | 長野県松本美須ヶ丘高校<br>オンライン配信あり                         |
| 分科会 | 長野県松本美須ヶ丘高校・松本市立旭町中学校<br>実参集・オンライン併用ハイブリッド・オンライン |

# 2026 長野県教育研究集会記念講演

どなたでも  
参加  
できます

## 演題 世界とつながり、平和を紡ぐ

～"過去の戦争をみつめ未来の平和をつくる"ピースボートの取り組みから～



### 講師 畠山澄子さん

ピースボート 共同代表

広島・長崎の被爆者の証言を世界に届ける「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」（通称：おりづるプロジェクト）や若者向けの教育プログラム「地球大学」などを中心に「顔の見える国際交流」を主軸に据えた船旅のコーディネートに携わる。国連本部における核兵器禁止条約の交渉会議や締約国会議で被爆者のスピーチを通訳。核軍縮に関する国際会議に参加してきた経験から、核をめぐる国際情勢や市民の役割についてさまざまな場で講演を行う。現在は立教大学で核のグローバル史を教えるほか、平和や戦争をテーマに体験型・参加型のプログラムも数多く行っている。専門は核のグローバル史、科学技術と社会論。共著に『ガザ虐殺を考える～その悲痛で不条理な歴史と現状を知るために～』『Navigating Disarmament Education: The Peace Boat Model（「軍縮教育 ピースボートの方法論」[英語書籍]）』『殺人ロボットがやってくる!? 軍事ドローンからロボット兵器まで』。TBS サンデーモーニングコメンテーター、東京新聞コラム「世界と紡ぐ」。ケンブリッジ大学政治・社会学部卒業、ペンシルベニア大学大学院博士課程修了（科学技術史）。

- ◆ 2026 県教研全体会（記念行事・記念講演）
- ◆ 11月3日（火）10:00～11:50
- ◆ 松本美須々ヶ丘高校
- ◆ オンライン視聴(zoom) あり

講師の畠山さんは、会場で直接参加者に語ります。  
午後は第17分科会にコメンテーターとしてご参加いただきます。



全体会会場で、書籍販売を行います

教職員、学生、市民の皆さん  
どなたでも参加できます。

県教研全体集会・分科会の参加申込は・・・

（参加には事前申し込みが必須です）

県教研ウェブサイトから

- ①「長野県教研」で検索
- ②「参加申込」タブをクリック
- ③「県教研参加申込」フォームに必要事項を記入し送信  
☆シレポーターは☑を忘れずに！
- ④登録確認メールが届き、登録完了
- ⑤県教研前に必要な情報をメールでお届けします。



県教研ウェブサイト

分科会の形式も、実参集・完全オンライン・オンライン併用とさまざま。全体会、そして興味ある分科会に、それぞれの方法で参加しませんか。

2026 長野県教育研究集会 県教研ウェブサイト

[トップ](#) [参加申込](#) [日程](#) [全体会・記念講演](#) [県教研とは](#)

### 2026長野県教育研究集会

in松本市

ようこそ県教研のWebサイトへ。  
スマートフォンでご覧になっている方は、右上「≡」をタップすると  
各種メニューをご覧いただけます。

[参加申し込みはこちら](#)

# 魅惑の23分科会

教科別12、課題別11、計23の分科会が開催されます。

開催時刻：13時～17時（終了は分科会ごと、最終17時）  
開催形式：参集（一部オンライン併用）・オンライン  
参集会場：松本美須々ヶ丘高校  
松本市立旭町中学校

## 分科会への参加の仕方

- ・教職員、学生、市民の皆さん、どなたでも参加可。
  - ・レポートを発表する。
  - ・発表されたレポートを聞いて考える。
  - ・レポートをもとに、みんなで意見を出し合う。
- 肩ひじ張らずに、あくまで気軽に、そして気楽に！  
いろいろな人が集まって、  
いろいろなことを考えて、  
いろいろなことを語り合う！  
晩秋の一日、  
一緒に学びの時間を！

## 教科別分科会

### 1 国語教育

#教材の読み方 #生徒の反応 #作文 #成長  
#評価方法 #読書体験

校種を超えた実践の数々から、明日の授業のネタ探ししてみませんか。「このやり方をこんな風にアレンジしてみよう」「あんな方法なら子どもたちもいい反応するかな」——そんな発見ができる機会だと思っています。みんなで共有すれば財産に。これを合い言葉にしましょう。

### 2 外国語活動・外国語教育

#外国語活動 #外国語教育 #英会話 #授業形態

外国語活動・英語教育では、子どもたちが「英語って楽しい！」「伝わった！」と感じられる授業を目指しています。「聞く・話す」活動を大切にしながら、「読む・書く」へとつなげ、自分の思いや考えを英語で伝える力を育てていきます。「こんな授業をやってみたい」「もっと子どもたちが英語を使いとなる授業にしたい」——そんな思いを、ぜひ一緒に語り合いませんか？  
英語が得意でも、ちょっと苦手でも大歓迎です！

### 3 社会科教育

#社会科におけるアクティブラーニング #観点別評価  
#主権者を育てる #社会科としての「深い学び」  
#社会科における平和学習 #ICTの活用 #授業のあり方

混迷の度を深める現代社会において、私たちは子どもたちとともに社会事象を「より正しく」「多面的多角的に」見るのが一層求められています。それを実現するためにはどうすればよいのでしょうか。授業への様々なアプローチを知り、実践上の悩みを出しあい、楽しく議論しながら学びましょう。

### 4 算数・数学教育

#子どもの心が動く #楽しい授業 #教材・教具 #ICT  
#グループ学習 #学習指導要領

学習指導要領の改定を前に、ICTの活用や授業のスタンダード化が進んでいます。しかし、スウェーデンでは、デジタルから紙の教科書へと戻る動きがあります。また、学習指導要領改定に向けた中教審「論点整理」の中では、「スタンダード化」について触れていません。こうした動きは、現在の流れを必ずしも肯定するものではないと言えます。そんな中、私たちはどんな授業を目指していけばいいのでしょうか。また、子どもたちが求める授業とは、どんな授業でしょうか。そんな授業のあり方を、集まったレポートをもとに意見交換していきましょう。

### 5 理科教育

#たのしい授業 #仮説実験授業 #各分野の系統的指導  
#もっぱら身の回りの自然と実物から学ぶ #実験指導

授業後に子どもたちから「たのしかった！」と言ってもらえるのは、教師の最大の喜びです。たのしい授業とは、まず教師自身がたのしんでやっている授業ではないでしょうか。理科分科会には、そのような子どもたちを引きつける授業や実践のレポートがたくさん寄せられてきます。子どもたちの見方や考え方が広がっていくたのしい授業づくりのポイントをみんなで考え合っていきましょう。もちろんレポートなしでの参加も大歓迎です。また、小中高大の先生方が一堂に介して話し合い交流することはとても貴重な機会であり、理科教育の視野がグンと広がるチャンスです。気軽にご参加ください。

### 6 芸術教育

#図画工作 #美術 #音楽 #書写書道

私たちが豊かに生きていくために芸術はなくてはならないものです。「学力向上」が叫ばれる中、ともするとないがしろにされがちな芸術ですが、小・中・高校とどのような段階を追って児童生徒を芸術に向かい合わせることが、生涯にわたって豊かな文化生活を送ることにつながるのか、それぞれの分野を越えて考え合いましょう。全体会を行った後、図工・美術、音楽、書写・書道それぞれに分かれて分散会を行います。実技講習も計画していますので、皆さん、奮ってご参加ください。

## 7 技術・職業教育

# 技術教育 # 職業教育 # ものづくり # 高校再編  
# 総合技術高校

技術・職業教育が担っている大きな役割を再確認し、こどもたちが「ものづくり」の楽しさや重要性を実感し、生き活きと主体的に取り組む授業実践を共有しましょう。そして、中学校の技術科、高校の農業科・工業科・商業科が、それぞれの視点で交流し、「技術・職業教育」の活性化のために学びあいましょう。また、専門高校の総合技術高校への集約化に対峙し、地域や学校づくりに結びついた授業実践を持ち寄り、既存学科の存在意義や魅力を再発信しましょう。

## 8 家庭科教育

# サステイナブル # 生命 # 健康 # 人生 # 家族 # 消費  
# 子ども # 高齢者 # 社会福祉 # 食生活 # 衣生活 # 環境

小中高での授業実践を交流し、継続した家庭科教育の学びについて考えます。合言葉は「語り合おう！ これからの家庭科教育」。小・中・高校の授業実践を持ち寄り、校種を超えた「家庭科の学び」について共に考えてみませんか。環境の変化が激しく先行きが見通せない現代において、自らの生活を主体的に構築し、より良く営む「生活的自立」の育成は重要な課題です。8年間の発達段階に応じた指導の工夫や円滑な接続を意識しながら、現場の具体的な取り組みや悩みを持ち寄り、明日からの実践に生きる深まりのある交流を目指して語り合いましょう。

## 9 保健体育教育

# 猛暑の中の運動 # 子どものケガや体力低下  
# 水泳学習のやり方 # 部活動の地域展開  
# ICT やデジタルの活用

年々暑さが増す中、どのような授業を行っていますか。水泳は外部施設ですか。指導は誰が。学校体育における水泳指導とは一体何。スポーツは今ある力で楽しめればいいですか、世界中で行われているルールで実施できるようにしたいですか。次期学習指導要領では学びに向かう力が評価対象でなくなったら、実技の苦手な子どもをどう評価しますか。校種を超えた議論と学びが毎年あります。

## 10 学校保健

# 子ども真ん中 # ウェルビーング # レジリエンス  
# その子らしさ

近年ますます多様化している児童・生徒とその家庭。それぞれが抱える問題は多岐にわたり、ケースごと対応が違います。どの子も生き生きと自分らしく毎日を過ごしてほしい。それは学校で働く私たちすべての教職員の願いです。どうすれば子どもたちが笑顔でいられるのでしょうか。そして、養護教諭は子どもたちの安心を守るために何ができるのでしょうか。仲間の実践からヒントをもらい、子どもたちと向き合う一助にしませんか。

## 11 生活科・総合学習・探究学習

# 総合的な # 総合的な学習の時間 # のめり込む・没り込む  
# 対象や自己との対話 # 生活科学習 # 気づき・発見  
# 探究学習 # 探求的な学び # 地域との連携

「総合学習・生活科」は毎年、県内各地から工夫を凝らした面白くダイナミックな実践が集まる分科会です。今年も、各校で先生方が児童生徒や地域と共につくった「わたしの学級」や「わたしの学校」の学びを持ち寄って交流しませんか。また、「総合学習・生活科での日々の悩みや大事にしていること」も大いに語り合いましょう。お互いの実践から、学び合い・交流できる分科会になればと思っています。

## 12 情報・ICT 教育

# GIGA スクール構想 # 個別最適な学び # 協働的な学び  
# 生成 AI # デジタル教科書 # 授業デザイン # 小中高連携

1人1台端末を文房具のように活用することが、学習の基盤として確立してきています。学びを深めるツールの1つとして普及が進む生成 AI やデジタル教科書を、児童生徒が自らのニーズに合わせて使いこなすにはどのようなことができるでしょうか。単なる実践紹介に留まらず失敗談等も本音で共有し、校種の垣根を越えて語り合える分科会になればと考えております。明日からの授業に生きる一步を共に踏み出しましょう。

### 課題別分科会

## 13 学校づくり・教育課程

# 学校づくり・地域づくりの当事者性  
# 自前の教育課程づくり

本研究会では生徒や地域の声を生かした学校づくり・地域づくりの視点から、実践の交流を通して考えていきます。また学校や地域の中で多文化共生の意味は何かについても研究します。

## 14 生活指導（自立と自治の指導）

# 自治活動 # 児童会・生徒会活動

日々の教育実践に手応えを感じつつも、気の重くなることも多いのではないのでしょうか。学級が大変、保護者との関係がうまくいかない、子どもに関わらない仕事が多すぎる……など。でも、苦しい時だからこそお互いの実践や思いを語り合い、明日からやってみようと思える力をたくわえていく…そんな会なればと思います。

## 15 特別支援教育と障害児の教育

# 発達障害児生への対応と支援のあり方    # 小中高の連携  
# 障害児学級・学校の授業づくり    # 通級指導教室の実践  
# 自立活動    # 個別の指導計画    # 通常学級の合理的配慮  
# 家庭の多様化への対応    # 入級児生の高校での姿

障害児学校では校舎の老朽化や過密過大、教職員不足、特定の手法を用いて行動変容のみを追求した指導の画一化などの課題、小・中学校では、障害児学級における定員引き下げやコーディネーター専任化、通級指導教室不足などの課題に加え、通常学級の教育条件整備や合理的配慮の課題、高校では小・中で入級していた児童生徒の支援の引継ぎのあり方、高校再編の影響（スーパーフレックス制高校設置の問題）、ライフサイクルを見通した合理的配慮の検討など、多くの課題を抱えています。これらを、現場よりあげられるレポートや基調提案などをもとに柱を据えて討議します。

## 16 教育改革と青年期の教育

# 教育制度    # 小中高等学校再編統合    # 学校の特色化  
# 教育格差    # 進路職業指導    # キャリア教育    # 定通制教育  
# 外国由来・日本語指導が必要な児童生徒支援

教育改革が押し寄せてきています。県下各地でウェルビーイング実践校 TOCO-TON のプロジェクトが始まりました。高校再編が地域懇話会で検討されています。また新たな高校入試も2025 年度から始まりました。2026 年度入試での、県内私立高校における大幅な定員超過は、公立高校の定員割れの一因となっており、看過することはできません。学校の主人公であるべき生徒達の意見が反映されることなく、教育施策が進められています。そういう中であって、生徒を主体とした学校づくり、地域づくりにどのように取り組めば良いのか交流します。教育改革の目的について議論を深め、地域や学校の当事者として、学校現場、地域はどう変化しているのか、またどのような困難があり、そこからどんな工夫がなされているのか交流をしたいと思います。生徒や学校にとって豊かな教育を創るための改革はどうあるべきか意見交流をしましょう。義務教育と高校の現場双方での意見交換ができれば、と考えています。

## 17 地球市民と教育

# 平和教育    # 平和学習    # 環境教育    # 防災教育    # 地球市民    # 国際教育    # 地球市民と教育  
全体会講師    畠山澄子さんがコメンテーターとして参加！！

2024 年に日本被団協がノーベル平和賞を受賞した際、世界は核兵器廃絶への希望を抱きました。しかし 2026 年現在、その願いを嘲笑うかのように世界の混迷は極まっています。核をちらつかせ、ウクライナやパレスチナでの紛争が収束を見ないばかりか、アメリカとイスラエルがイランに対して武力攻撃を仕掛けるという暴挙に及び、中東全域を巻き込む大規模な戦争の危機が目前に迫り、地球環境が破壊されようとしています。こうした国際社会の無法状態に呼応するように、日本国内でも「新しい戦前」が牙を剥いています。台湾有事を想定した南西諸島の軍事拠点化や自衛隊の急速な増強が進んでいますが、メディアはこれを正面から批判的に報じることを放棄しているかのようです。私たちが知らないうちに戦争の歯車に組み込まれ、加

害者として、あるいは被害者として惨禍に巻き込まれていく恐怖は、かつてないほど現実味を帯びています。そして、私たちの憲法がかつてない大ピンチをむかえている。いま、教育に求められているのは、時の勢いに流されない「平和憲法」に根差した確固たる視点です。この度、平和・国際教育と環境教育が融合して地球規模で市民が平和に暮らせる視野に立ち分科会を進めます。

- ・環境保護：地球温暖化に結びつく自然環境破壊を食い止め、地球と共生していく在り方を学ぶ
  - ・個人の尊厳の守護：国家の論理に飲み込まれず、子どもの人権と命を最優先にする教育の構築
  - ・平和の創造と批判的思考：メディアリテラシーを養い、戦争への加担を拒絶する力を育む教育
  - ・現代的課題への連帯：中東情勢や環境破壊、人権侵害といった国際的課題を「自分事」として捉え解決の道を模索する学習
- 子どもたちが環境破壊や暴力に支配される未来を拒否し、地球と共生し平和の理念を活かす教育を共に構築していきましょう。

## 18 教育条件整備

# 就学援助などの修学保証制度    # 学校の環境整備  
# 義務教育無償

学校を取り巻く様々な環境について考えていく分科会です。就学援助や特別支援教育奨励費、施設の修繕や予算の活用・進学のお金の話題などを通してこどもや教職員の環境整備について話しませんか？

## 19 学校給食と食教育

# 学校給食    # 食教育    # 食育

子どもたちの未来を育む学校給食と食教育を持続可能なものとするために私たちは今、何をすべきでしょうか。食料費の値上がりや給食費の無償化など、現代的な課題が山積しています。実態調査の結果から見える栄養教職員がおかれている状況や、県内の学校給食や子どもたちの現状を踏まえて考えます。実践研が考える調理実験も計画しています。おいしくて楽しい食体験を子どもたちに届けるために、議論を交わしましょう。

## 20 現代文化・図書館教育

# 青少年文化    # 図書館教育    # 朗読    # 放送部    # 生徒会活動    # 文化祭    # 生徒会    # SNS    # メディアリテラシー    # 文化活動  
# 学校図書館    # 読書    # 図書館活動    # 図書委員会

学校での生徒会活動、文化祭活動を中心に、児童・生徒・学生の文化的活動を研究しています。また図書館活動やメディアリテラシーの実践・研究も行っています。情報過多の現代で、内容の是非を判断するために、私たちは青少年にどんな手を差し伸べることができるのか話し合ひましょう。全国高校総合文化祭（総文祭）では朗読、アナウンス、番組などの部門で技術を競っています。3 年前のかごしま総文では、最優秀の文部科学大臣賞を受けるなど、この分野で長野県の高校生は伝統的に活躍しています。今年の分科会では外部講師として放送部を支えたフリーアナウンサーの生田和徳さん（松本出身）に活躍の舞台裏や、朗読のポイントなどについてお話しいただきます。小中高校の図書館についても楽しく役に立つ情報を交流しましょう。

## 21 子どもの権利条約が生きる学校

# 子どもの権利条約   # 不登校

子どもの権利条約は「差別の禁止」「子どもの最善の利益」「生命、生存及び発達に対する権利」「子どもの意見尊重」の4つの原則を保障しています。しかしながら、学校教育の場では、過度な競争や管理的な教育が子どもを苦しめ、不登校児童生徒が増加しています。どの子も楽しく学べる学校に必要なものは何でしょう。子どもの権利条約が真に生きる学校をつくるために、教育現場における実践も交えて、幅広い視点からともに学び合いましょう。

## 22 ジェンダー平等教育

# ジェンダー   # ダイバーシティ   # アンコンシャスバイアス  
# 性の多様性   # 男女共同参画   # 包括的性教育   # 性的同意   # デートDV  
# 教育実践   # 教育をアップデート   # インクルージョン   # 人権教育  
# 地方女子

ジェンダー平等の教育も、幅広いレポート発表があります。心と身体の性が一致しない「トランスジェンダー生徒」への配慮から学校がどんな工夫をしたかの報告。男子のいじめが発展した問題行動に潜む「有害な男らしさ」にどう養護教諭が向き合ったか。一見平等に見えているけれど、厳然と男女格差ある日本。経済や政治の男女格差を可視化する授業実践。教員も「男性なのに育休取る？」パタハラ案件に出会ったり。どう向き合おう・・・？日々のちょっとした、出来事、取り組みをお待ちしています。

## 23 子どもの育ちの連携

# 園小中高連携・接続   # 保育園・幼稚園の学び  
# 探究的な学び   # 学びの連続性   # 子ども食堂  
# 放課後児童クラブ・学童保育   # 子どものウェルビーイング

子どものよりよい成長について、それぞれの発達段階とその連続性を大切に考えていくために、園から小中高校にいたる接続や連携のあり方、また探究的な学びのあり方などを幅広く考える分科会です。放課後児童クラブ・学童保育や子ども食堂など、学校以外の場での子どもの育ちについても学び合いたいと考えています。どの子もその子らしく育っていけるように、様々な場で子どもに関わっているみなさんと交流しましょう。



| 分科会               | 開催形式  | 参集会場           |
|-------------------|-------|----------------|
| 01 国語教育           | オンライン |                |
| 02 外国語活動・外国語教育    | オンライン |                |
| 03 社会科教育          | 併用    | 美須々(215教室)     |
| 04 算数・数学教育        | オンライン |                |
| 05 理科教育           | 併用    | 美須々(化学教室)      |
| 06芸術教育(全体会)       | 参集    | 美須々(音楽室)       |
| 06 芸術教育(音楽)       | 参集    | 美須々(音楽室)       |
| 06 芸術教育(図工・美術)    | 参集    | 美須々(美術室)       |
| 06 芸術教育(書写書道)     | 参集    | 美須々(書道室)       |
| 07 技術・職業教育        | 参集    | 旭町(2の3)        |
| 08 家庭科教育          | 併用    | 旭町(6組A、7組、1の3) |
| 09 保健体育教育         | オンライン |                |
| 10 学校保健           | 参集    | 美須々(会議室)       |
| 11 生活科・総合学習・探究学習  | オンライン |                |
| 12 情報・ICT教育       | オンライン |                |
| 13 学校づくり・教育課程     | 併用    | 美須々(216教室)     |
| 14 生活指導(自立と自治の指導) | 参集    | 旭町(2の2)        |
| 15 特別支援教育と障害児の教育  | 併用    | 旭町(1の2)        |
| 16 教育改革と青年期の教育    | 併用    | 美須々(217教室)     |
| 17 地球市民と教育        | 併用    | 美須々(視聴覚教室)     |
| 18 教育条件整備         | オンライン |                |
| 19 学校給食と食教育       | 参集    | 旭町(家庭科室・調理室)   |
| 20 現代文化・図書館教育     | 併用    | 美須々(223教室・図書館) |
| 21 子どもの権利条約が生きる学校 | 併用    | 旭町(1の1)        |
| 22 ジェンダー平等教育      | オンライン |                |
| 23 子どもの育ちの連携      | オンライン |                |

| 開催形式  |                   |
|-------|-------------------|
| 参集    | ： 会場開催のみ(オンラインなし) |
| 併用    | ： 参集+オンライン        |
| オンライン | ： オンラインのみ(会場開催なし) |

参集・併用開催分科会は、会場でのレポートの用意はありません。  
各自、プリントアウト・端末保存などでご対応ください。  
Wi-Fi接続は、分科会役員のみで、分科会参加者は接続できません。

### 分科会へ参加するために

- ①県教研ウェブサイトから参加申し込みをする。  
(申込期限は10月27日)
- ②登録完了メールが届く。  
(届かない場合は、メールアドレス等を確認、再登録)
- ③10月30日(予定)に、共有ドライブや接続情報等に関するメールが届く。
- ④レポート共有ドライブからレポートをダウンロードする。

レポーターとして分科会参加される方は  
★多教職員、学生、市民、どなたでもレポーターになれます。

- 方法1：支部教研、研究会からの推薦で
- 方法2：分科会あるいは事務局と打ち合わせて

- ①参加者として県教研ウェブサイトから申し込みをする。  
(レポーターとしての申込期限は9月28日)  
申込の際、レポーター欄の☑を忘れずに。
- ②レポーターあて返信メールが届く。
- ③メール内のリンクから、レポーター登録フォームに入力。
- ④レポートを提出する。  
レポーターあてメールのリンクから、レポートをアップ。  
レポートアップロードの〆切は10月4日。  
※提出いただいたレポートは事務局で確認後、共有ドライブへアップ。

# 2026 長野県教育研究集会会場ガイド

## ◆会場案内（全体会・参集分科会）

長野県松本美須々ヶ丘高校 … 全体会・分科会  
〒390-8602 長野県松本市美須々 2-1 TEL 0263-33-3690

松本市立旭町中学校 … 分科会  
〒390-0802 長野県松本市旭 3-7-1 TEL 0263-32-2048

JR 松本駅 下車

駅前 松本バスターミナルから「浅間線」または「信大横田循環線」で  
約 15 分（『大学西門』または『追分』バス停 下車）

長野自動車道 松本 IC から車で約 25 分

- ◆いずれの会場も駐車台数に限りがあるため、  
できるだけ公共交通機関をお使いいただくか、  
乗り合わせでのご来場にご協力ください。
- ◆会場には上履きのご用意がないため、  
各自、ご持参ください。
- ◆レポートは印刷、あるいは端末保存等で、  
各自、ご準備ください。



自家用車でお越しの際の駐車場

◆係員の指示に従い駐車してください

◆駐車していく順は、、、

- ①松本美須々ヶ丘高校  
旭町中学校  
⇒ 午後の分科会に合わせて  
いずれかの会場の駐車場へ  
※美須々高北グラウンドは、  
雨天の場合は使用不可
- ②信州大学附属中学校  
⇒ 信州大学側の入り口から
- ③信州大学附属小学校  
⇒ 信州大学側の入り口から
- ④信州大学附属小学校  
⇒ 附属小西側一方通行路から
- ⑤旭町小学校  
⇒ 予備駐車場です。

①～④満車の時に使います

※いずれの校地も十分な駐車スペースがないため、できるだけ公共交通機関をご利用いただくか、相乗りでのご来場をお願いします。

主催

長野県教職員組合連絡協議会

長野県教職員組合 長野県高等学校教職員組合 長野県私立学校教職員組合連合 長野市立高等学校教職員組合

信州大学教職員組合連合 長野大学教職員組合 長野県立大学教職員組合

共催

長野県保育問題連絡協議会 全国福祉保育労働組合長野県支部 公益社団法人長野県教育文化厚生協会

後援

長野県教育委員会 長野県 PTA 連合会 長野県校長教頭組合 日本教育公務員弘済会長野支部 長野県教職員互助組合

長野県退職教職員互助組合 長野県教育会館 信州の教育と自治研究所 教職員共済生活協同組合長野県事務所

生活協同組合コープながの 長野県高等学校退職教職員協議会 長野県高等学校生活協同組合

信州フリースクール居場所等運営者連絡協議会 松本市教育委員会 安曇野市教育委員会 塩尻市教育委員会 朝日村教育委員会

山形村教育委員会